様式３（2015.06改）

作成日　平成29年11月7日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393200171
事業所名	グループホーム奏　幡豆

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	地区総代、民生委員等を通して、地域行事の情報収集やホーム行事案内等の情報交換を行い、徐々に交流が始まっている。 10月に行うホームの1周年記念祭には、回覧板を使って地域にも案内を出す予定である。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	奇数月に運営推進会議を開催し、地域包括支援センター職員、町内会長、民生委員、家族、管理者等が会議メンバーである。 開設から間もないこともあり、ホームが抱える課題の討議は少なく、地域密着型サービスを正しく理解してもらうための説明が中心である。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	運営推進会議への地域包括支援センター職員の出席、議事録の説明に市役所訪問、介護相談員の受け入れ等、ホームの状況は役所窓口に理解されている。 市が主催する「就職フェア」に小間の提供を受けている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	日常の来訪・運営推進会議・家族会等、家族の足を運ぶ機会は多く、家族との繋がりは密である。 ご不幸があって家族が迎えに来れない時、利用者を葬儀場に連れて行く等、家族のお手伝いをして喜ばれている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	－	－	－	－	－	－	－	－	○		